

札幌大谷大学同窓会

OTANI 真^{しん}心^{しん}会

同窓会だより

第47号 令和5年10月1日発行

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

ootanisinsinkai@gmail.com

第3回 谷の会展 令和5年6月20日～25日





札幌大谷大学 学長 千葉 潤

日頃より、本学の教育研究活動に對しまして、同窓生の皆さまから厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

二〇二二年度には学園運営において様々な変化が生じ、同窓生の皆さまにも多大なご心配をおかけしたことを思います。しかしながら、隣り合う札幌大谷中学・高等学校と本学の学園内連携はこれまで以上に発展し、二〇二二年度には、多数の内部進学者を獲得することができました。また大学では、社会学部が二〇二二年度の開設以来はじめて定員を超える入学者を獲得することができました。が、他方、短期大学部保育科は、全国的な短大離れの影響を受け、大きく入学者を減らす結果となりました。今後は、道内屈指の実績と教育力を誇る札幌大谷保育のブランドを堅持しながらも、新しい受験者層の開拓に向けて様々な対策を実施する予定です。

今年度は新型コロナウイルスの五類移行に先立って、新学期スタート時よりマスク着用は任意とし、食堂のパーティションも大半を取り外すなど、コロナ

前の大学生活にほぼ復帰しております。ひさしぶりに満杯になった学生食堂で、学生たちが明るく歓談する姿をみて、つくづく通常の生活のありがたみを実感する日々です。

先日は、同窓会六十周年記念祝賀会にご招待いただき、有意義な時間を過ごすことができました。岡部実行委員長はじめスタッフの方々に対しまして、教職員を代表し厚く御礼申し上げます。本学が沢山の卒業生や先輩教職員の想いに支えられてきたことを心に刻みつつ、今後の大学運営に尽力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美 (音楽科14期)

コロナの規制がなくなり、コロナ禍前の日常に戻りつつあることを実感する毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年五月十四日に総会、六月二十日〜二十五日に谷の会展、八月十一日に同窓会設立六十周年記念祝賀会、そして来る十一月二十三日には第四十四回谷の音会コンサート開催と盛りだくさんの一年となりました。

特に六十周年記念祝賀会は道内各地から、関東からもお越しいただき、短大一期生から大学二期生までの卒業生が一堂に会し、盛会のうちに終了いたしました。

記念祝賀会につきましては来年の同窓会だよりで詳しくご報告させていただきます。

さて、私達はコロナ禍を経験し、働き方や人との関わり方、価値観の多様化など、多方面で大きな変化を目の当たりにしました。同窓会も年齢層が広がることによって、考え方や価値観の違いが生じるのは当然のこと、今後

さらに顕著に表れる事と思います。

組織のコミュニケーションを図るにはどうしたら良いかを考えた時、理想を言えば「縦・横・全体つながり」が円滑に進むことだと思いますが、そう簡単にできるものではありません。

昭和、平成、令和と時が流れ、良き伝統を大切にしながらも、新しい風を入れるというスタンスで同窓会活動を進めて参りましたが、この先の世代の広がり考えた時、新たな課題が見えてきたように感じています。

解決策を見つけることは大変難しいのですが、皆様からの忌憚ないご意見をお聞かせいただき、できることを少しずつ考えて行きたいと思っております。

今後とも同窓会活動にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



芸術学部学部長
音楽学科長
三山 博司

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症の五類への移行に合わせるように、大学でもこれまで対策を行ってきた様々な行動規制も無くなり、伸び伸びとレッスンや練習に励む学生の姿が見られるようになり、学内にも活気が戻ってきています。演奏会も五月二十七日に陸上自衛隊とのキャンパスコンサート、七月一日には航空自衛隊とのキャンパスコンサートが大谷記念ホールで続けて行われ、自衛隊員の卒業生との共演を果たしました。七月十九日にはカナモトホール（札幌市民ホール）においてウィンドオーケストラ第十六回定期演奏会を盛況のうちに終えることが出来ました。また十一月二十九日にはキタラ大ホールにおいて音楽学科第十八回定期演奏会を開催する予定です。

就職におきましては、今年三月の



芸術学部 美術学科長
鳥宮 尚道

卒業生の就職率が一〇〇%を達成することができましたことは大変喜ばしい事であります。就職課程におきましても、昨年四月にご着任いただいた萬司先生のご指導の下、職員の手厚いサポートもあり、現役、既卒者を合わせて数多く教員として採用されました。今年度もまた昨年度に続き更なる成果をあげてくれることと期待しております。

さて音楽学科の学生募集は毎年厳しいものがありますが、今年度は定員六十名のところ、六十七名の新入生を迎えることができました。今年の新生にも、卒業生の下で学ばれた学生が何人もいて、短期大学時代からの音楽科、そして大学音楽学科がこれまで積み上げてきた歴史と伝統の重さを強く感じております。

これからも教職員一丸となつてより良い教育活動に邁進していく所存でございます。どうか今後とも温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

おかげさまでここ数年の美術学科は多くの入学者を迎え入れております。その学生たちは学内でコミュニケーションカフェや展示を実施したり、市内でグループ展を開催したり、公募展での受賞、地域との連携や海外の大学とのワークショップ、企業との連携プロジェクトにも取り組むなど精力的に活動しています。

大きな変化としては、今年度の新入生からカリキュラムを変更したことです。皆さんは入学時にコースが分かれていたり、造形表現領域とメディア表現領域のどちらかを選択して授業が展開されていたかと思いますが、新しいカリキュラムではコースや領域を取り払い、全ての学生が八つ全ての専攻の基礎を学べることにしました。絵画の学生がデジタルツールも学び、映像の学生が立体も必修として学ぶということです。

世の中ではすでに、多様な表現やスキルを活かす場が増えていきます。クリエイティブな人材に対して社会からの

要望も多くなつてきていると感じます。そのためにも、これからの社会をつくっていく学生にはスキルのみでなく、多くのことに触れて深い思考を持つてほしいですし、さまざまな価値観に触れてほしいと思います。ここで育つ学生が、新しい表現を作り出していくことを我々としては期待しているところです。

時代の変化とともに、今後一層、大谷美術の歴史を学生とともに創り上げていきたいと思っております。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





社会学部
地域社会学科長
和田 佳子

同窓生の皆様におかれましてはそれぞれの分野でますますご活躍のことと拝察いたします。二〇二二年に開設した社会学部地域社会学科は、この春初めて七十名の定員を満たし七十七名の新入生を迎えて賑やかにスタートいたしました。これもひとえに、卒業生の皆様が年々歳々、築き上げてくれた学風と実績の賜物と心から感謝を申し上げます。

ここ数年、コロナ禍の影響を受けて停滞していたボランティア活動や地域活動がようやく対面形式で再開し、本学科らしさを取り戻しつつあります。一年次必修のボランティア実践では、今夏は二学年分、百四十余名が一斉に地域のお祭りや行事に参加して学んでいるところです。

専門ゼミでは、美唄市、恵庭市、蘭越町、長沼町などをフィールドにして、調査や人的交流による地域理解を深めています。また地域メディアゼミの学生たちによるFMラジオ番組制作も一期生から途絶えることなく脈々と継

続中です。このように学生たちが手狭なキャンパスを飛び出して、広い地域の中で人と触れ合い、人との距離感をつかみながら成長していく姿を目のあたりにし、対面交流による教育効果を再認識しております。

おかげ様で今年の就職状況も好調です。朝日新聞社出版のAERAムック「就職力で選ぶ大学ランキング2023」（社会学部の部）では今年も再び全国一位として紹介されています。引き続き、同窓生の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申しあげます。



短期大学部
保育科学科長
田中 住幸

札幌大谷大学同窓会設立六十周年おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。ご存じのとおり、本学は昭和三十六年（一九六二）年に、札幌大谷短期大学として定員四十名の保育科からスタートしております。少し調べてみますと、前年の昭和三十五年には池田勇人内閣による「所得増計画」が発表され、三年後の昭和三十九年には前の東京オリンピックが開催されており、高度経済成長を迎えていく本州の動きに合わせて、北海道内の様子もガラッと変わっていったことと思います（ちなみに、札幌オリンピックは昭和四十七年の開催です）。幼稚園教育においては、昭和三十一年に試案として公開された「幼稚園教育要領」が、昭和三十九年に文部省（当時）告示として正式なものとなり、昭和三十八年には第一次の「幼稚園教育振興計画」が出され、昭和五十年代のピークに向けて幼稚園在園者数が増加していくこととなります。その後、平成に入ってから「少子化」や「子育て支援」という言葉が現れ、保育所の拡充や、認定こども園の新設などが始まり、令和の現在に続いてきております。こうした時代の流れと共に、本学は

開学以来、北海道を代表する保育者養成校として、道内の保育・幼児教育を支えてきております。もちろん、卒業生の中には道外で活躍する方も多く、北海道を初め全国の保育・幼児教育を支える保育者養成校と言っても過言ではありません。これも一重に「札幌大谷保育科」のプライドを胸に、各地でご活躍いただく卒業生の皆様のおかげだと強く感じております。令和五年三月の学位授与式、修了証授与式では、短期大学部保育科は六十九名、専攻科保育専攻は十名の者が卒業・修了致しました。新たな同窓会メンバーとして、お迎えさせていただきますようお願い致します。

新型コロナウイルスの影響が緩和され、コロナ禍前のように対面授業が実施できるようになってきました。場合によっては、マスク着用や感染対策が必要になりますが、人と人のつながりを感じながら過ごすことができるキャンパスには、いつも学生たちの笑顔が溢れています。卒業する時に「やっぱり札幌大谷でよかった！」と思ってもらえるような保育科であり続けたいと思います。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

釧路支部



支部長 泉 洋子

音楽科12期

「支部活動のこれから」

常に涼しい釧路地方も珍しく暑い日が続き、更にコロナも燃りながらも以前よりはあまり話題にのぼらなくなり、世界各地での異常気象など、地球規模での変化が年を追うごとに増えてきている昨今、今度は何が起こるか身構えている気がしてストレスのたまる日々ですが、今平穩に生活できる事に感謝しなければならぬと思っております。

釧路支部は昨年、様々な方々のご協力のもと三十五周年の行事を催すことができ、無事終了されたことの安堵感と深い感謝の念で一杯でございます。今年も五月二十一日に支部総会を行い七月二日には久しぶりにマスクなしで合唱祭のステージに立ちました。何かと制約の多い中息を潜めていた日々、まだまだとはいえ集うこと、言葉を交わすことが少しずつ増えてきたと思えます。

支部活動も同じで、今まで気付けなかったかも知れない同窓生としての楽しさ、喜びを感じることができたと思います。色々な考え方がありと思えますが、活動の中で小さな幸を見つけたら、それこそが大きな意味であると思えます。

これからも会員の親睦を深めながら活動を進めてまいります。

十勝支部



支部長 植松 恵

音楽科13期

「酷暑の十勝から」

夏休みを迎えた子供たちが、暑さに負けず元気に遊ぶ声が外から聞こえてきます。例年にならない酷暑を迎え、十勝では連日全道トップの気温ですが、この暑さの中で何とか過ごしている毎日です。

十勝支部は、昨年十月、一年遅れとなりましたが、支部設立十五周年の記念演奏会を終えることができました。大学から先生方をお迎えしての素晴らしい演奏会を開催することができ、ひとえに大学と同窓会本部のお力添えあつてのことと感謝しております。当日の演奏会には、大学からは河野先生、小原同窓会長、釧路支部から泉支部長にもおいでいただき、本場にありがとうございました。リストと織りなす糸のタイトルのコンサートで谷本先生と三山先生の解説や朗読が入り、演出にも凝った、心に残る演奏会でした。五年毎に行っておりますこの周年行事、難しい事も多いですが、同窓会会員の輪を広げ、活動の節目として大変意義ある行事と思っております。現在の支部役員も今年度で六年を迎え、次年度は代替わりとなっております。コロナ禍で半分過ぎってしまった感がありますが、スムーズに橋渡しをしたいです。

八月十一日には同窓会設立六十周年記念祝賀会が行われましたが、同窓会が設立六十周年を迎えられたことを喜び申し上げるとともに、祝賀会に参加させて頂き、お祝いできたことに感謝申し上げます。

オホーツク支部



支部長代理 小森 洋子

音楽科12期

「オホーツク支部の今」

同窓生の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。

長い冬の雪解けが進むように数年に渡った新型コロナウイルスによる自粛生活から解放されたように感じる今日この頃でございます。オホーツク支部の活動は、現在も休止状態です。ですが数年をかけて自粛生活から解放されたように一歩ずつ前進し、支部の活動も活性化させていきたいと感じております。まずは長きに渡り、停滞してしまつた支部だよりの発行再開がスタートだと考えています。

今年度は同窓会設立六十周年という節目の年でございます。八月十一日開催された「同窓会設立六十周年記念祝賀会」の様子、大学の様子や役員近況報告などを支部の皆様にお知らせしたいと考えています。オホーツク支部が結成されておよそ十五年程度の月日が流れ、役員顔ぶれこそは変わらないものの、それぞれの生活環境の変化、コロナウイルスによる社会の変化など設立時から比べてたくさんの変化が生まれています。

テニスプレイヤーの大坂なおみさんは「同じままでいるよりも人生は変化があった方がおもしろい」という言葉を残しています。オホーツク支部がどのような変化を生むのか見守っていただければ幸いです。

「子どもたちが、輝き続けるために」



伊藤麻里子
保育科26期

た道々でしたが、それが当たり前にできていました。子どもを社会全体がゆつたりと見守っていた時代だったのででしょう。現在は、気候変動による災害、虐待、貧困、格差など子どもたちの周りには様々な課題が山積みで途方にくれてしまいます。

私は札幌大谷短期大学保育科を卒業し、教諭として歩み勤続三十年を迎えました。このように長い間子どもに携わる仕事を続けてこられたことは、いつも応援してしてくれた家族と、私の個性を認め共に教育の道を歩んでくれた職場等、多くの仲間を支えられたことです。そしていつの時代も変わらず輝いている子どもたちの笑顔やたくましく生きる姿に背中を押されてきました。けれども子どもたちの育つ背景は、大きく変わっています。卒業後に勤めていた幼稚園では、降園時は三十名前後の子どもを一人の先生が歩いて送っていました。それなりの交通量があっ

「変わらない本質」



勝本 望帆
音楽学科9期

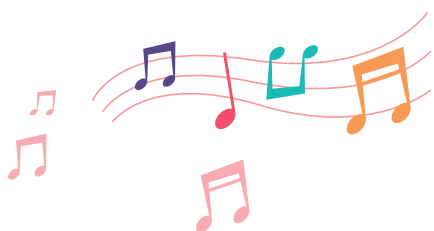
卒業後、札幌市内の文化施設を管理運営する財団に入社し、現在はKitaraで主催公演の制作・企画を担当しています。

の場所という印象を持っていましたが、職員となった今は、他に類を見ない最高峰の響きを持つ素晴らしいホールだと自負しています。お招きするアーティストのみなさんの多くが、「素敵なホールだ、またここで演奏したい」と仰ってくださいること、またお客様もここで音楽を味わう時間を楽しんでくださっている姿がその裏付けだと思えますし、自分が住む街にKitaraがあることを誇りに思い、大切に育ててくれる人を一人でも増えるようにと願いながら、これからも邁進していきます。

子どもが平和な世の中を元気に笑顔で過ごせるためには、と色々考えてみて行きついたことは、子どもを育てているお母さん・お父さんが元気であることです。そのためには社会全体で、未来を担う子どもたちをゆとりのある優しさと思いやりで見守り、共に育てる気持ちを持続させることだと思います。私たちが築いてきた「輝き」を子どもたちに残していきたいでしょう。

私は、音楽教室の講師になって子どもたちに音楽の楽しさを伝えたいという目標を掲げて大谷に入学しました。大学での様々な人との出会いを通し、結果としては違う道を選びましたが、子どもから大人まで、多くの人々に音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えられる仕事についており、私が目指していたことと本質は変わっていないように感じています。

演奏する側の人間として、幼いころからKitaraは特別な、憧れ



「あの日の憧れ」



磯 優子
美術科45期

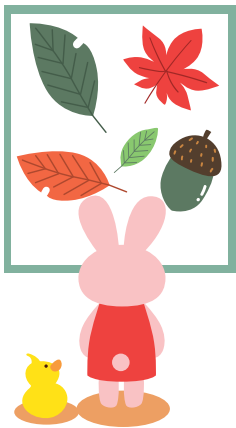
デザインコースを志望して入学した十八歳の春。私は北棟四階の廊下で衝撃を受ける。

廊下に並ぶ巨大なキャンバス、大胆に汚れた作業着。油彩コースの先輩たちが熱心に作品と向き合っていた。彼女たちの姿は格好良く、コースの違う私とその姿に憧れを抱くのに時間はかからなかった。制作中の作品が変化していくのを眺めるのが楽しみで、廊下は私にとって楽園だった。

美術と一口に言ってもデザインとフラインアートでは学ぶ内容に大きな違いがある。しかし、札幌大谷大学ではデザインを専攻した学生でもデッサンや日本画、版画に金属造形、写真まであらゆる表現に触れること

ができた。毎日が楽しく刺激的で、幅広く知識を得たことで更に探究心が芽生えた。「ずっと美術の側にいたい」その思いが今の暮らしに繋がっている。

現在、私は地元の釧路でフリーランスのデザイナーをしながら高校と大学で美術の非常勤講師を、幼稚園で造形教室を主宰している。デザインとアートを両立する道にたどり着くことができたのは、あたたかな人の縁に恵まれたおかげだ。
仕事で迷いが生まれた時には、学生時代を思い出す。いまは無い北棟の廊下で「あの日の憧れ」が私の背中を押してくれる。



「志高く」



山形 翼
地域社会学科1期

卒業以来、札幌市西区を拠点に置く地域FMラジオ局・三角山放送局のパーソナリティとして日々活動しています。

幼い頃から身近にあったラジオ。カーBGM代わりにいつも流れていたFMの音楽ヒットチャートからはじまり、受験勉強を口実に夜な夜な電波を拾った学生応援番組と、何気ない日常に特別感を与えてくれるラジオの世界に魅了され、いつの日からかパーソナリティを志すようになりました。

そんな漠然とした夢を抱えて過ごした大学生活。ゼミでのラジオ制作や地域イベント時のMCなど機会にも恵まれ、教授や同級生の後押しも

受け大きく自信をつけたことが、この世界に挑戦する原動力となりました。

先日、大学時代の恩師から「8年前の今日」という見出し付きで送られてきた一枚の写真。そこには、先述したラジオ番組中の楽しい大学三年時の自分が写っていました。

八年経った今も変わらずマイクに向かい続けていることに、少し誇らしい気持ちになりました。ですが、かつて自分が魅了されたパーソナリティはこんなもんじゃありません。

志高く、この先も精進します。

釧路支部設立 35 周年記念 外山啓介ピアノリサイタル 令和4年9月11日(日)

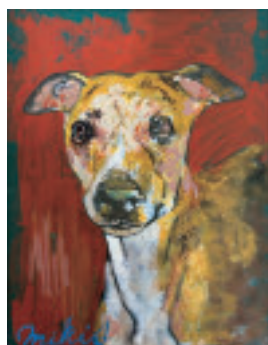


十勝支部創立 15 周年記念コンサート 令和4年10月28日(金)

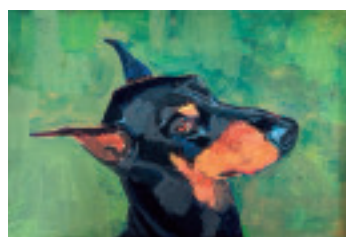


同窓会ギャラリー

本学食堂に展示



1. レオン



2. ゴーイ



3. 毛糸のマフラー



4. おもかげを追って
安西 美樹 (美45)

会費の納入方法について

※平成 26 年度より
改正になりました

【平成 26 年 4 月 1 日入学生から】

終身会費 20,000 円は納入済みですので、今後納入していただく会費はありません。
振込用紙の金額欄は「*****」となっています。

【平成 25 年度以前の卒業生】

会費納入について ① ②のどちらかを選択してください。

① 終身会費 20,000 円を納入

振込用紙の金額欄に 20,000 円とご記入の上、納入してください。
一度納入していただいた方の振込用紙の金額欄は「*****」となっていますので、
終身会費の再度の納入、年会費 1,000 円の納入の必要はありません。

② 年会費 1,000 円を毎年納入

振込用紙の金額欄に 1,000 円とご記入の上、納入してください。
複数年分を一度に納入して次年度以降の会費とすることはできません。
複数年分を納入していただいても返金することはできませんので、ご注意ください。

振込用紙は、同窓会日より郵送時の宛先を兼ねております。
そのため、平成 26 年 4 月以降に入学された方および終身会費を納入いただいた方にも同封されます。
すでに終身会費を納入していただいた方には、振込用紙の金額欄に「*****」と記載されております。
今後会費を納入していただく必要はありません。
※電信振込の方は備考欄に学科と期をご記入ください。

同窓会の会計は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを今年度とします。

会費を納入される際は、納入時期にご注意ください。

例) 10 月 1 日に 1,000 円を納入、翌年 1 月 31 日に 1,000 円を納入の場合、同じ年度に 2 度納入していただいたことになります。
次年度分として取り扱うことはできませんので、納入時期にご注意ください。

住所・氏名等 変更申込手続きについて

住所・氏名等に変更がございましたら、こちらの QR コードを読み込んでいただき、住所変更等申込フォームに必須事項をご入力ください。
入力後は「確認画面に進む」ボタンを押していただければ登録作業は完了となります。



同窓生数

| | |
|------------------------------------|--------------------|
| 同窓生数計 | 15,535 名 |
| 保育科 | 5,729 名 (専攻生含む) |
| 芸術学部音楽学科 (旧音楽科、音楽学部、芸術学部、研究生含む) | 5,441 名 |
| 芸術学部美術学科 (旧美術科、芸術学部、専攻生含む) | 3,996 名 |
| 社会学部地域社会学科 | 369 名 |

| | |
|-----------------------|----------------------------|
| 3 月 21 日 | 大学・短期大学部卒業式 出席予定 |
| 2 0 2 4 年 (令和 6 年) | |
| 11 月 23 日 | 第 44 回 谷の音会コンサート |
| 9 月下旬 | 第 47 号同窓会日より発行 記念祝賀会 |
| 8 月 11 日 | 同窓会設立 60 周年 記念祝賀会 |
| 6 月 20 日～25 日 | 第 3 回谷の会展 |
| 5 月 14 日 | 令和 5 年度総会 |
| 4 月 7 日 | 大学・短期大学部入学式 会長出席(祝花を贈る) |
| 2 0 2 3 年 (令和 5 年) | |

2023 年度(令和 5 年度)
事業並びに活動予定

札幌大谷大学同窓会設立 60 周年記念 第 44 回 谷の音会コンサート

2023 年 11 月 23 日（木祝）札幌コンサートホール（キタラ小ホール）におきまして、第 44 回谷の音会コンサートを開催いたします。

多彩なプログラムを是非皆様にお聴きいただきたく、多くの皆様のご来場をお待ち申し上げます。

日 時 2023 年 11 月 23 日（木祝）
開演 13:30 開場 13:00

会 場 札幌コンサートホール Kitara 小ホール

入場料 全席自由
一般 2,000 円、学生 1,000 円
・ kitara チケットセンター (011-520-1234)
・ 道新プレイガイド
・ 市民交流プラザチケットセンター (0570-00-3871)

お問い合わせ ootanisinsinkai@gmail.com



2022 年度収支決算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収 入 16,570,620円
支 出 12,369,094円
差引残高 4,201,526円 (翌年度繰越金)

札幌大谷大学同窓会真心会

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 摘 要 |
|-------------|------------|------------|------------|--|
| 入 会 金 | 2,930,000 | 4,020,000 | △1,090,000 | 大学 193名+87名 短期大学部 79名+43名 |
| 会 費 | 5,560,000 | 4,703,000 | 857,000 | 大学・短期大学部在学学生(201名) 卒業生 4,020,000円 683,000円 |
| 雑 収 入 | 0 | 47 | △47 | 預金利息 |
| 前 年 度 繰 越 金 | 7,847,573 | 7,847,573 | 0 | |
| 合 計 | 16,337,573 | 16,570,620 | △233,047 | |

支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 摘 要 |
|-------------|------------|------------|-----------|-----------------------------|
| 同窓会便り発行費 | 500,000 | 430,540 | 69,460 | 第46号印刷費(7,600部) |
| 同窓会便り発送費 | 900,000 | 633,360 | 266,640 | // 発送費(7,280通) |
| 消 耗 品 費 | 120,000 | 13,330 | 106,670 | 事務用品・衛生用品・プリンターインク代等 |
| 活 動 費 | 300,000 | 217,920 | 82,080 | 役員活動費、交通費 |
| 通 信・連 絡 費 | 250,000 | 138,934 | 111,066 | 総会案内、資料等発送費、電話代 |
| 印 刷 費 | 300,000 | 194,700 | 105,300 | 払込票、封筒、総会案内宛先印刷代、コピー代 |
| 会 議 費 | 300,000 | 116,083 | 183,917 | 総会、役員会等費用 |
| 慶 弔 費 | 200,000 | 198,020 | 1,980 | 各学部イベント及び卒業式祝花・香典など |
| 補 助 費 | 500,000 | 520,000 | △20,000 | 各支部会員数別加算費 |
| デ ー タ 管 理 費 | 150,000 | 55,000 | 95,000 | 名簿データベースメンテナンス |
| 卒 業 記 念 品 | 350,000 | 275,000 | 75,000 | 卒業記念品 |
| 支 部 関 連 費 | 300,000 | 41,420 | 258,580 | 支部会議・交通・宿泊費等 |
| 行 事 費 | 900,000 | 858,927 | 41,073 | 谷の会会展会場費、チラシ印刷代、谷の音会コンサート関連 |
| 備 品 費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| 雑 費 | 2,667,573 | 75,860 | 2,591,713 | 終身会費重複納入者返金、振込手数料、その他 |
| 積 立 金 | 8,500,000 | 8,500,000 | 0 | |
| 寄 付 金 | 0 | 100,000 | △100,000 | 札幌大谷高校野球部(甲子園出場) |
| 合 計 | 16,337,573 | 12,369,094 | 3,968,479 | |

編集後記

同窓会も60歳。還暦を迎えました。記念祝賀会では懐かしい再会があちこちで見受けられました。時が経つのは早いものです。猛暑の中の同窓会だより編集作業も持ち前の体力と気力、チームワークの良さで乗り切りました。お読みいただけますと幸いです。

- 名誉会長 千葉 潤 (学長)
- 役員
- 会長 小原 明美 (短音14期)
- 副会長 佐藤 潤子 (短音12期)
- 会計 山口 美美 (保19期)
- 会計 森谷 直美 (短音33期)
- 書記 今野 くる美 (短音36期)
- 書記 笹木 穂 (大美2期)
- 書記 川原田 凌 (社3期)
- 会計監査 佐藤 和華 (短音36期)
- 会計監査 佐武 美香 (保24期)
- 支部長 泉 洋子 (短音12期)
- 支部長 植松 恵 (短音13期)
- 十勝支部長 小森 洋子 (短音12期)
- オホーツク支部長代理 小森 洋子 (短音12期)

令和5年度真心会本部